

保証

お買いあげいただきましたADCカーリッジは、お買いあげ期日より1年間の保証をいたします。ADC製品につきましては、米国本社における商品管理・検査体制に万全を尽くしてはおりますが、万一、期間中に製造上の事由による不良が発生した場合は、これを無償で修理(交換)の保証をいたします。お買いあげいただきました時より10日以内に、カートリッジ添付のご愛用者カードを当社までお送りください。保証のための資料として永く保存させていただきます。なお、期間中ではありまし

●IM(インデュースド・マグネット)型発電方式はADCの開発にもるもので、以下の各国においてADCのpatentです——アメリカ(3294405)、カナダ(764041)、オーストラリア(278924)、イギリス(1092734)、日本(824184)

ても、次の項目に該当する場合は保証の範囲を越えますので、取扱いに際しては説明書をよくご確認ください。

- ①取り扱い上の不注意や誤操作によるカートリッジ損傷
- ②針先等、当然摩耗する部分の劣化
- ③当社以外で手を加えた製品
- ④ご愛用者カードを返送されなかった製品
- ⑤天災、事故等、不可抗力によるカートリッジ損傷

※故障の場合は、お買いあげの販売店にお持ちいただくか、お手数ながら当社サービス係までご郵送ください。早急に、修理、あるいは交換をいたします。

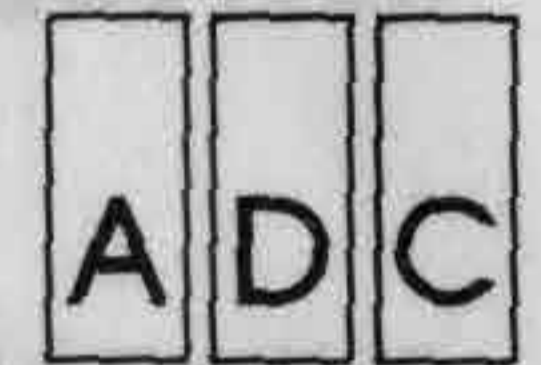
ADC AUDIO DYNAMICS CORPORATION
 pickett district road new milford, conn. 06776, USA
 ADC division of BSR (Japan) Limited
 東京都千代田区神田佐久間町1の9第7東ビル 〒101
 TEL03(251)8141(代) 大阪営業所06(304)0848

取扱い説明書

QLM

30
32
34
36

MK III STEREO CARTRIDGES



AUDIO DYNAMICS CORPORATION

SPECIFICATIONS

MODEL	QLM36 MK III	QLM34MK III	QLM32MK III	QLM30MK III
出力電圧(5.5cms/sec)	7.7mV	9.5mV	8.2mV	8.2mV
針圧	3/4~1 1/2g	1~3g	2~4g	3~5g
周波数特性	15Hz~22kHz ±2dB	20Hz~20kHz ±2dB	20Hz~18kHz ±2dB	20Hz~18kHz ±3dB
チャンネルセパレーション	26dB	24dB	20dB	18dB
針先	.0003"×.0007" 楕円針	.0003"×.0007" 楕円針	.0004"×.0007" 楕円針	.0007" 円錐針
カートリッジ自重	5.75g	5.75g	5.75g	5.75g
負荷インピーダンス	47kOhms	47kOhms	47kOhms	47kOhms
交換針	RSQ36	RSQ34	RSQ32	RSQ30

●この規格は、改良のため、予告なく変更することがあります。

お買いあげいただいたADCカートリッジの特性を最大限に発揮し、最上の再生をお楽しみいただくために、この取扱説明書の手順に従い確認しつつセッティングされることをお勧めいたします。

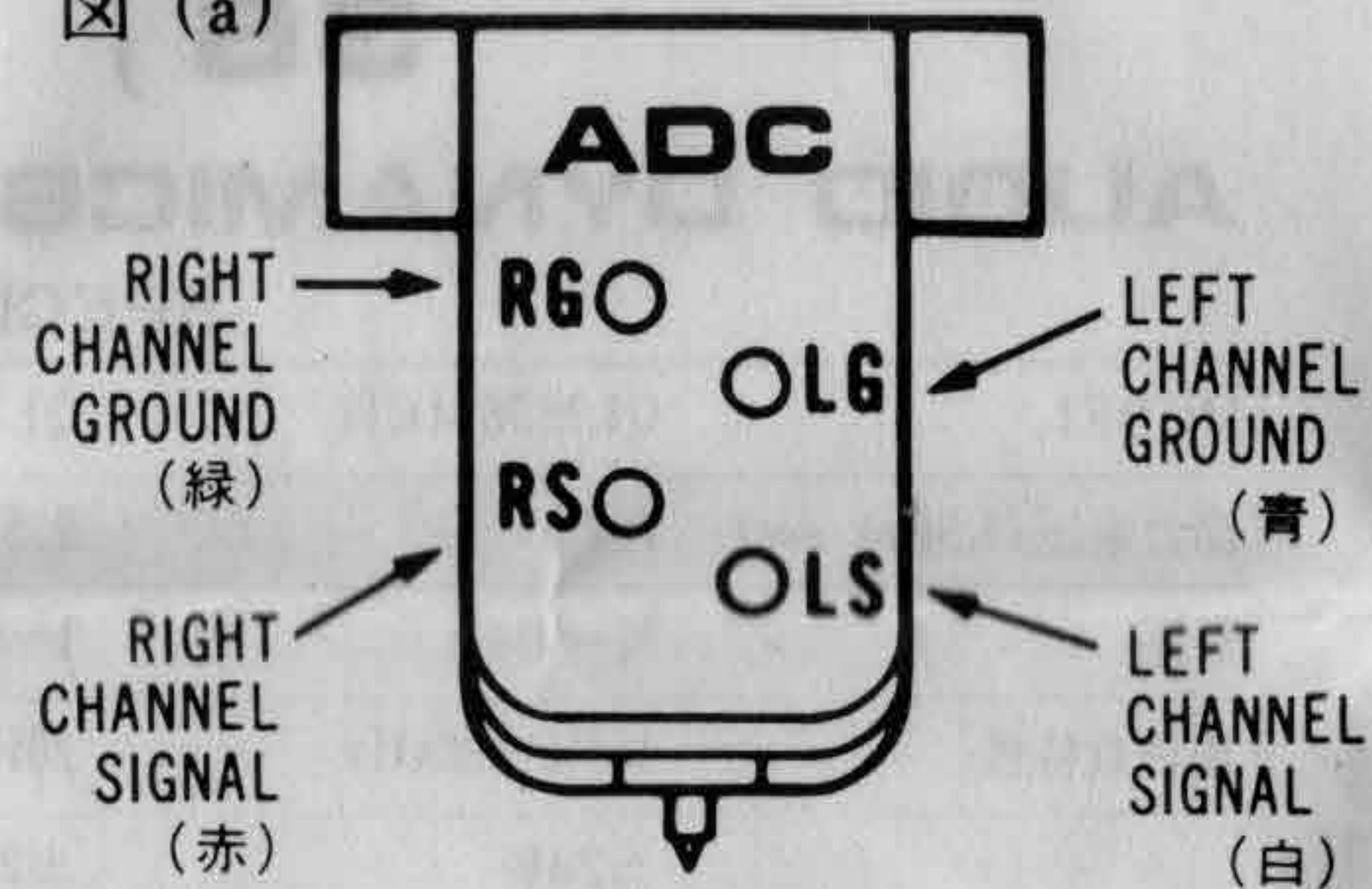
ADCカートリッジの取付け

QLMmkIIIシリーズ中、36・34・32にはADC特製のヘッドシェルが標準装備されていますが、もし他のヘッドシェルに付け替えようという時には、そうしてQLM30/IIIでは、以下の手順でカートリッジをヘッドシェルに取り付けて下さい。なお、取付けに際しては、スタイラス部を予めボディから外し、電源はOFFの状態で作業を進めることをお勧めします。

- ①リード線の正しい結線は、図(a)を確認しながら行ってください。
- ②一応の取付けが終了したら、アームをレコード面にセットし、カートリッジのボディの面とレコード面とが平行になるように注意・確認してください。
- ③アームの高さ調整、オーバーハング調整、針圧調整な

どは、トーンアーム、あるいはプレーヤの取扱説明書でご確認ください。調整を怠りますと、ADC本来の特性が発揮できません。

図(a)



●注意

- ・カートリッジ取付けの際、リード線の接続にハンダ付けのご使用は避けてください。高熱にのめ、カートリッジに悪影響を及ぼすことがあります。
- ・シェルのリード線のプラグが、以前ご使用のカートリッジのために広がっていることがあります。ピンセット

か小さなプライヤーで軽く締めてください。

アース接続の注意

ADCカートリッジは、完全にシールドされていますが、トーンアームやプレーヤがアースされていない場合、ハムが発生することがあります。トーンアーム、及びプレーヤは必ずアンプのアース端子に接続してください。

アンプへの接続

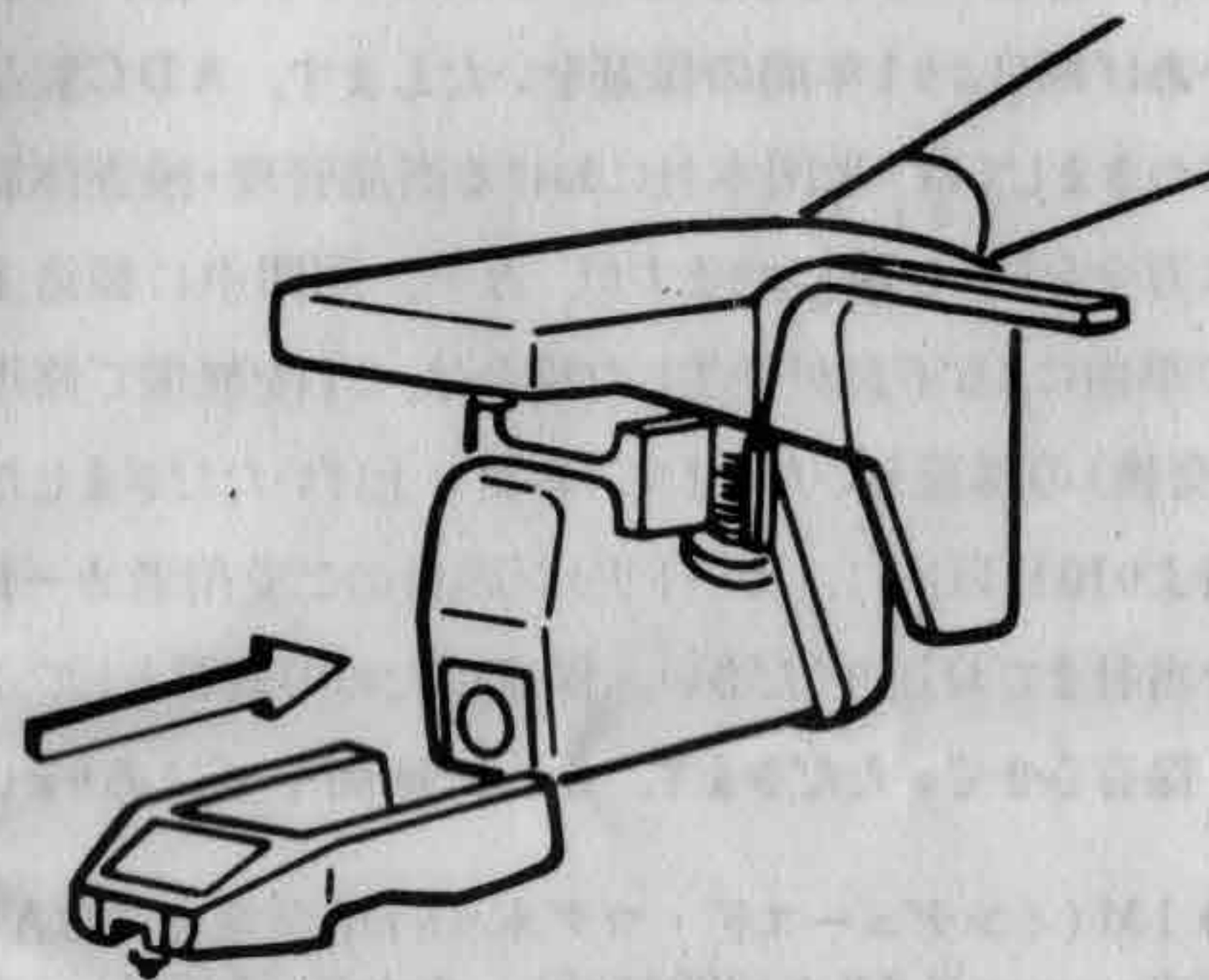
トーンアームやアンプへの接続には、出来るだけ良質のシールドコードをご使用ください。しかも、長さが200cmを越えないコードのご使用をお勧めします。

スタイラス取付け

以上の作業を終了し点検したうえで、スタイラスを取付けてください。ADCカートリッジは、図(b)のようにスライド・インして取りつくと、所定の位置でロックされるように設計されていますので、完全にセットしてください。

- QLM30/IIIにはヘッドシェルはついておりません

図(b)



終りに

ADCカートリッジは、出来るだけ高感度・高品質のトーンアーム、プレーヤと組み合わせてご使用くださるようお勧めします。ADCだけの、ハイ・コンプライアンス、軽針圧の音の魅力を一層ひき出すことができます。